

# 子どもたちとともに 21 世紀の未来をひらこう

「教育のつどい 2010」実行委員会代表委員

山口隆（全日本教職員組合委員長、教組共闘代表幹事）

「教育のつどい 2010」に全国各地から、たくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございます。

## 子どもについて大いに語り合おう。

改訂学習指導要領のもとでの子どもたち、貧困と格差拡大の進行のもとでの子どもたち、いま大きな社会問題としてクローズアップされ、時には親が子をあやめるという大変悲惨で深刻な事件まで起きている児童虐待の問題、などについて正面から向き合い、語り合いたいと思います。

## 政治の動きや教育政策の動向ともかかわらせて考えあうことが大切

子どもと教育の問題は、政治の動きや教育政策の動向と決して無関係ではありません。公立高校授業料無償化、40 人学級の見直しの動きなどは、明らかに前進面です。一方で、「新自由主義」的教育政策から脱却できない、民主党政権の本質があらわとなっています。私たちは、あらためて憲法と子どもの権利条約そして教育の条理をしっかりとすえて教育を見つめ、教育活動や教育運動をすすめることが求められているのではないのでしょうか。これらの問題についても、深めていきましょう。

## 平和の問題をいっしょに考えあおう。

核廃絶をめぐる大きな前進があった年です。5 月に開かれた国連 NPT 再検討会議では、最終合意文書で「核兵器の完全廃絶にむけた具体的措置を含む核軍備撤廃」に関する「行動計画」にとりくむとされ、パン・ギムン国連事務総長は今年 8 月 6 日、はじめて広島を訪問しました。核廃絶をはじめ米軍普天間基地をめぐる問題などをふくめ、平和の問題を「子どもたちとともに平和の文化を」というテーマに沿って考えあいたいと思います。

参加者のみなさん。今日からの 3 日間、大いに語り合い、文字どおり子どもたちとともに 21 世紀の未来をひらく「つどい」として大きく成功させようではありませんか。